

## 1 . 環境先進県づくりを目指して（知事メッセージ）

「環境の世紀」21世紀において、産業活動も、私達市民の生活も、循環型へと切り替えることを求められており、そのための意識変革、ライフスタイルの変革、新たな環境ビジネスの創出などが不可欠になっています。

こうしたことから、三重県は環境への負荷の少ない循環を基調とした社会システムの構築を目指し、環境と経済を同軸に捉えた環境効率の高い「環境経営」を推進するなど、次世代に誇れる環境づくりを進め、三重県を名実ともに「環境先進県」とする変革・行動に取り組んでいます。



県民や企業の皆さんと協働で環境先進県づくりを進めるためには、三重県庁自らが信頼できるパートナーとして認めていただくことが大切です。まず「隗より始めよ」です。そのため、率先して三重県庁自体を「環境負荷の少ない県庁」にするため、ISO14001の導入やグリーン購入への取組を始め、公共工事における環境配慮、夏のエコスタイルなど環境負荷の低減に向けて取り組んでいます。

ISO14001については、平成12年2月に三重県庁本庁舎が、平成13年3月にはすべての地域機関で認証を取得しました。定期的な人事異動なども考えると、ISO14001は本庁舎だけではなくすべての地域機関で取る必要があると思ったからです。

その導入にあたって、当初（平成10年）の県政戦略会議では、県庁内のゴミ箱をゼロにしようという提案し、それだけで3時間ほど議論をしたことがあります。ゴミの量を減らすために10%減らそうとか、5%減らそうというのは、職員はすぐにやっけてしまいます。けれども元の90%は残ってしまうわけです。

私からはこう提案しました。「今、三重県庁に求められているのは、ゴミを何パーセント減らせというよりは、ゴミをゼロにすることではないか。ゼロにするためには捨てる場所をなくせばよい。ゴミ箱をなくしたらどうか。」侃々諤々（かんかんがくがく）の議論がありましたが、「だからやらない」ではなく「だけどやろう」と決定して実行したのです。

三重県庁をぜひ訪れていただきたいと思います。各階に分別箱を置き、個人用のゴミ箱は全部なくしました。そのゴミ箱は庁舎前の庭で花のポットとして再利用されています。捨てる場所がなくなれば、机の上のゴミを丸めてゴミ箱に捨てることもなくなり、分別して再利用に回すから資源となります。まさに「混ぜればゴミ、分ければ資源」です。



グリーン購入にも真剣に取り組んでいます。当初、グリーン製品の方が価格が高いという問題がありましたが、現在では、その市場が成立、供給が拡大し、グリーン製品の方が安くなってきたものもあります。三重県庁では、日常的に購入する物品のうち用紙・文具類についてはすべてが環境配慮型商品になりました。

このような三重県庁が自ら率先して環境負荷低減に取り組んでいる情報を県民や事業者の皆様方にお知らせし、皆様方と共に「環境先進県づくり」を進めていくためのコミュニケーションツールとするため、今回初めて三重県庁の環境マネジメントシステム（ISO14001）の取組成果をまとめた「環境報告書」（☆1）を作成・公表することとしました。

企業においては、既に多くの環境報告書が発行されていますが、行政組織から発行されている事例はまだまだ少ない状況にあり、環境省の環境報告書作成のガイドラインなどを参考に手探りで作成しました。

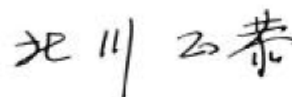
作成にあたり、県庁がどのような環境負荷の削減に取り組んでいるか、そしてその成果はどのようになっているかという点を中心にわかりやすく皆様方にお示しすることを心掛けましたが、まだまだ改善の余地があると考えています。

この環境報告書をご覧になり、是非皆様方からご意見、ご提言をいただきたいと思えます。

なお、平成13年度三重県の環境の現状と環境先進県づくりを目指した施策の取り組み状況については、従来どおり「環境白書」（☆2）にまとめましたのであわせてご覧いただきたいと存じます。

平成14年12月

三重県知事



※この環境報告書及び環境白書は

三重県環境部のホームページ：三重の環境（<http://www.eco.pref.mie.jp>）でご覧になれます。

☆1「環境報告書」は、事業者としての県庁の環境取組をまとめたものです。

☆2「環境白書」は、三重県全域の環境状況と環境施策を中心に、まとめています。

